

## 8月8日(木) コッツウォルズ巡り

昨日のオックスフォード大学訪問後、家に帰ってから、「大学」についてホストファミリーと話しをしたようです。「私のホストマザーは大学でドラマサークルに入っていたそうです。」  
「ホストファザーの専攻はエンジニアリングでした。」「ホストマザーは大学に行かずに陸軍に入隊して、看護師として勉強したそうです。」等々、生徒たちは、ホームステイ生活を通して色々な質問をファミリーへ投げかけ、コミュニケーションをとりながら沢山の事を学んでいます。

午前中は、スピーチ練習と午後には訪問する予定の「4つのコッツウォルズ村」について勉強しました。小グループに分かれると、英国人学生アシスタントと一緒に4つの村の中から1つの村を選び、その村について色々調べました。そして、その後、各グループ毎に調べた村についてのプレゼン発表を行いました。コッツウォルズ地方についてだけではなく、スピーチに向けてのプレゼンテーション・スキルも磨くことが出来ました。

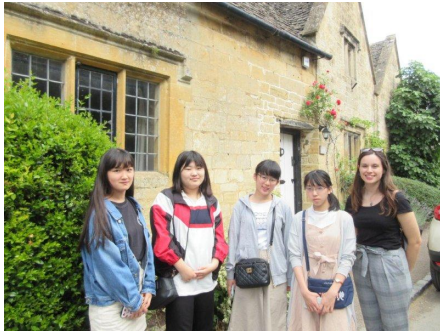
2時限目は、スピーチ授業でした。スピーチ発表を明後日に控え、授業では文章の完成と長さ調整に入りました。一人ひとり交代で英国人教師と内容を詰め、他の人達は文章を書き直したり、インタビューで得た情報を加えたりしました。「全体の長さから、まずはメインで話したい内容の時間を決め、その後、導入と結論の時間配分を決めましょう。」「結論に結びつくアイデアを、様々な方向から考え、加えていきましょう。」など、アドバイスをもとに、学生アシスタントと一緒にみんな真剣に文章を考えていました。



午後は教室を離れて、コッツウォルズ村巡りを楽しみました。コッツウォルズは、かつて羊毛産業の集積地として栄えましたが、産業革命時に土壌の問題で鉄道が敷けなかったことが原因で、発展することができませんでした。そのため、現在でも昔ながらの美しい面影を残し、イギリス人からも“イギリス人の心の故郷”として人気を集める観光スポットとなっています。

バスが通る道の左右には、イギリスのカントリーサイドらしい景色である麦畑が広がり、牛や馬や羊たちが放牧されている場所もあります。心安らぐ、のどかな景色です。

はじめに、Stanton 「スタントン」というとても小さな村を訪れました。1600年代に建てられたこの村の家々の殆どはコッツウォルズ・ストーンで建てられていることで知られています。いくつかの家の屋根はサッチドルーフと言われる、今でも職人が昔ながらの方法で造る藁ぶき屋根で、小さな村全体を絵画のような美しい風景を演出しています。また近くには乗馬場があり、今日は天気も良かったので、乗馬を楽しむ人たちを何人も見かけることができました。童話に出てくるような家々は本当に人が住んでいるとは思えない感じで、まるでタイムスリップしたかのような錯覚に陥ります。



スタントン村の次に向かったのは、ブロードウェイです。コッツウォルドの宝石とも例えられるこの町は、シェイクスピアの作品にも登場するほどの美しさに溢れています。中世の羊毛産業が盛んだったころはその運搬の中継地として栄えたそうです。当時、駅馬車で移動する人たちの休息地として軒並みに建てられた立派な建物は今ではおしゃれなホテル、カフェ、ショップ、ミュージアムなどとして蘇っています。ここで 30 分程の自由時間を設け、おみやげ屋さんやお菓子屋さんの店、みんなそれぞれいろいろなお店を覗きながら楽しい時間を過ごしたようでした。



その後、ボートン・オン・ザ・ウォーターへと向かいました。コッツウォルズのベネツィアと言われている「ボートン・オン・ザ・ウォーター」は、村の中心に小川が流れ、夏にはピクニックに来る家族連れや観光客で賑わいます。小川沿いにはたくさんのティールームとお土産屋さんが並んでいます。今日も良いお天気の中、水辺で日光浴をしたり、水遊びをしたりする人の姿が多くみられました。



そして、ボートンと言えば、クリームティー。紅茶とスコーンのセットで、素朴な風味のスコーンにクロテッド・クリームとジャムをたっぷりつけて頂きます。自由時間になると、このクリームティーを求めて一目散の生徒さん達や、お土産を求めてお店に駆け込む生徒さん達など、それぞれの目的地へあっという間に消えていきました。集合時間前になると、買い物やクリームティーを済ませた生徒達が川で水遊びをしていました！



最後にバイブリーを訪れました。この村は英国で有名なデザイナー、ウィリアム・モリスが「イギリスで一番美しい村」と称賛した村で、17世紀に建てられた家並みはコッツウォルズのカレンダーや本の表紙でお馴染みの景色です。アーリントンローと呼ばれる築700年以上にもなるコテージの前で記念撮影をしたり、木陰が涼しい小路を散歩したり、「可愛い!」「(小川の水が) すっごくきれい。空気もきれいな気がする。」と、その美しさに皆さん驚いているようでした。



今日のバスハイクでは、なぜこんなにコッツウォルズがイギリス人のみならず、世界中の人々の心を惹きつけ、愛されるのかを生徒の生徒たちも少し理解できたのではないのでしょうか。

今晚はぐっすり寝て、明日のスピーチ練習を頑張りましょう！応援しています！